



小島 智恵
議員
(拓政会)

問

5月3～4日気象庁は大雨と融雪が一気に進む恐れがあると警戒し、多くの被害が発生。5月13日増水した途別川で5歳児が亡くなる水難事故も起きた。以下伺う。

①5月の大雨、増水による被害状況は。

②糠内地区糠内川付近の住民は、増水の恐怖感を覚えたと聞いているが、状況と対応は。

③札内南地区途別川沿いは、過去に浸水被害が発生した。その後の防災・危機管理体制は。

④パークゴルフ場サーモンコースが水没したが、再開の目途や被害額、今後の在り方について。

⑤今回の水難事故の原因、今後の安全対策について家庭や教育現場での指導等の取り組みは。

町長

①農業被害として、畑の停滞水が25・69ha、表土流出が28・12ha、町道では71カ所で路肩の崩壊など被害総額2793万

問 答

5月の大型連休に起きた大雨・融雪への対応に問題はなかったか
初動体制については特に問題はなかったと考えている

円になると見込んでいる。

②市街地にある樋門で糠内川からの逆流が確認されたため、樋門を閉鎖し排水ポンプを作動させ対応し、特に被害は発生しなかった。

大雨被害が懸念されるときは、

地域の方や消防職員が参集し、関係機関と連携を図り警戒態勢を取っている。

③平成13年に強制排水を行えるように泉町とみずほ町に、雨水排水ポンプ所を設置した。設置後一度も浸水被害が発生していないため、十分な機能があると考えている。

④コースは5月26日より再開し、被害額は80万円であった。

十勝川の河道掘削整備も順次進められているので、今後、猿別川の水位上昇も緩和されると考えられるで、引き続き要望していきたい。

⑤当日一人で遊びに行ったこと、雨や雪解け水により増水し流れも速かったことが原因と考えられる。

教育委員会では、各学校に意識啓発や注意喚起など指導の徹底に

努めるよう要請し、担任を通じての指導や学校だより等で児童生徒や保護者に注意喚起を行った。

農業は電力制限により死活問題になるが町から声を上げないのか

中央会と一緒にの立場で行動をとっていききたい

問

泊原発3号機が停止し、道内の節電目標値2010年比7%要請、計画停電も準備。

以下伺う。

①節電対策と住民の啓蒙、大規模停電の対応は。

②泊原発の再稼働や廃炉の所見は。

③再生可能エネルギー固定価格買取制度が7月導入されるが、太陽光発電の企業誘致と個人設置の進捗状況は。

町長

①町の広報誌で節電について呼びかけ、大規模停電に至らぬよう一般家庭と事業者が7%の節電に対応していくことが、必要と考えている。

②私としては考えを話すことは差し控えていただきたい。

③企業からは現在のところ、2法人と1個人から立地の話がある。個人は、町の補助制度による設置が平成23年度末で93件、それ以外で68件の設置を確認している。

再質問

医療機関や老人ホームは、自家発電機を備えているか、何時間もつか。バイオガスプラントの所見や中小水力発電、札内川ダム、幕別ダムを発電に利用できないか。

答 老人ホームの発電機は非常等の点灯で2時間、病院は緊急装置の作動で16時間、燃料を補給すればさらに使えると聞いている。

代替エネルギー等の利用については、調査研究をしていきたい。



みずほ町雨水排水ポンプ所